

【1グループ】

分類	意見
避難場所 (避難ビル)	横断歩道橋の補強・整備
	伊豆山港みどりの広場からの避難道路整備
避難路 (急な坂道) (交通障害)	逢初川の橋の補強
	3つの避難路を優先順位を付けて1つずつ整備
	廃屋の処理
	サインの統一
意見発表	<p>津波高7mが想定されているがハード対策は考えずに主に避難路の整備について話し合いを進めた。避難路の整備、伊豆山港(伊豆山海岸)からの避難ルートは3ルートあるがどのルートを使用して避難したら良いか優先順位を決めて整備していただき、優先順位1位の避難路への誘導表示、夜間ライト、の設置を行い外国人、障害者についても1位の避難ルートを目指せるような整備をして欲しい。整備にあたって想定される避難ルートは走り湯から階段を上り伊豆山神社へ通じるメインルートと思われるが、近辺には古い家屋、廃屋もある、その点についても避難ルートとして整備できるように、避難する人が安全に逃げられるように行政として補助して欲しい。</p> <p>伊豆山港については緑の広場(多目的広場)があるが、ここからの避難についてどのような施設整備が出来るか、伊豆山港内には廃船や避難時に支障になるようなものが見受けられるため、清掃するべきではないか、いざという時に安全に避難するために出来ることからやっていくべきではないか。</p> <p>海浜プールについては逃げるときに歩道橋の通路幅が狭いので拡幅して避難スペースとして活用する検討をしていただきたい。</p> <p>道路については逢初川の走り湯橋の修復が必要、補修については市が直近に対応していただくとの回答を得た。</p> <p>町内としては同報無線が伊豆山海岸につながっていないため町内会としてスピーカーを中田屋様屋上に港、海浜プール、陸側に向けて取り付けました。いざという時には対応できるが、逃げるルートを確認しておかないと情報の伝達があったとしても有効にならないのでルートの整備には重点的に取り組んで欲しい。</p>

熱海市 伊豆山地区協議会 H27. 10. 28開催 WS意見

【2グループ】

分類	意見
ライフライン	現在約40基 とりかえ済 残3分の2有(町内) 2年くらいでやる
	走り湯まで観光として照明を整備
	ポンプ場の明かり
避難路 (急な坂道) (交通障害)	樹木の管理・伐採(個人)
	放置物の撤去(個人)
	空き家の倒壊の危険の調査
	(市)通行途絶が予想される箇所の調査
	3本とも
	崩れる所はどこか
	どこを優先して整備するか
	ガケの調査
	倒木
	避難路の街灯整備
	ポンプ場からさがみやにかけて街灯がない
人的障害	訓練の継続
情報伝達	ビーチラインは震度5で流入禁止になる
意見発表	避難路の整備、調査を行って欲しい。相模屋様の前が夜になると真っ暗であるため調査して欲しい、車が通る本通りのがけの調査を行って欲しい。ガケの調査、倒木、訓練の継続、照明の整備、照明調査等1グループと似かよった意見が多かった。